

初期仕様—入力設定—加工生成 2



加工生成 2 では、〔自動生成 – 加工〕で反映される内容を設定します。

- ① 〔初期仕様 – 入力設定〕の「加工生成 2」をクリックします。
- ② 床合板当り欠きクリアランス：床合板の間柱、筋違当り欠きクリアランスを設定します。

クリアランスを設定し、〔自動生成 – 加工〕を実行します。

XSTAR合板CADに切替後、〔自動生成 – 合板加工生成〕を実行します。

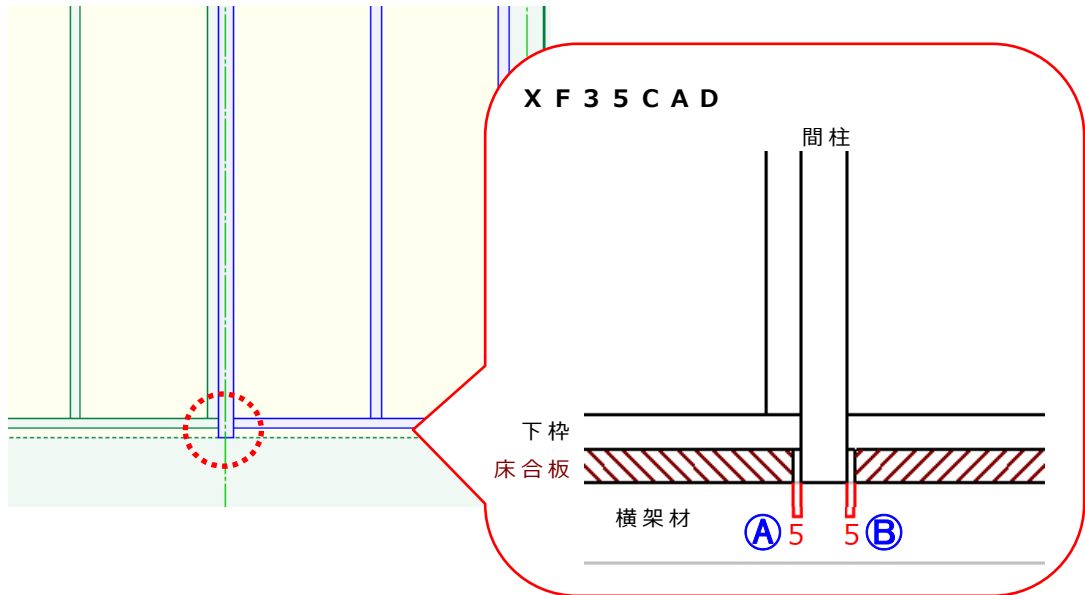
床合板にXF35CADで設定したクリアランスが加味され、当り欠き加工が生成されます。

- ・対間柱：床合板の間柱当り欠きクリアランスを設定します。
- ・対筋違：床合板の筋違当り欠きクリアランスを設定します。

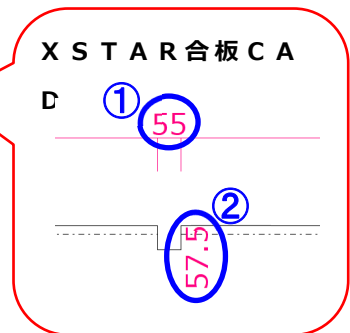
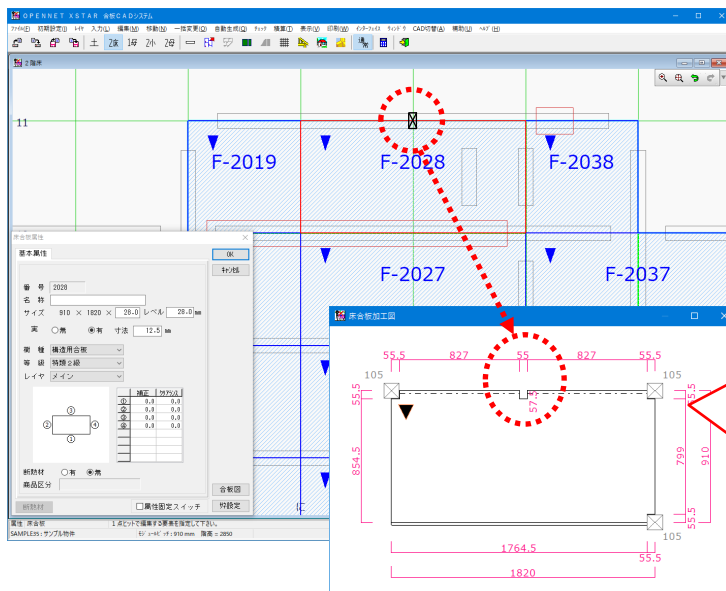
初期仕様—入力設定—加工生成 2

＜床合板の間柱当り欠き＞

例) 床合板当り欠きクリアランス 対間柱 : 5 mm



加工生成 ⇒ 合板 CAD ⇒ 加工生成



① 55 mm = 間柱材成 (45 mm) + 当り欠きクリアランス (A 5 mm + B 5 mm)

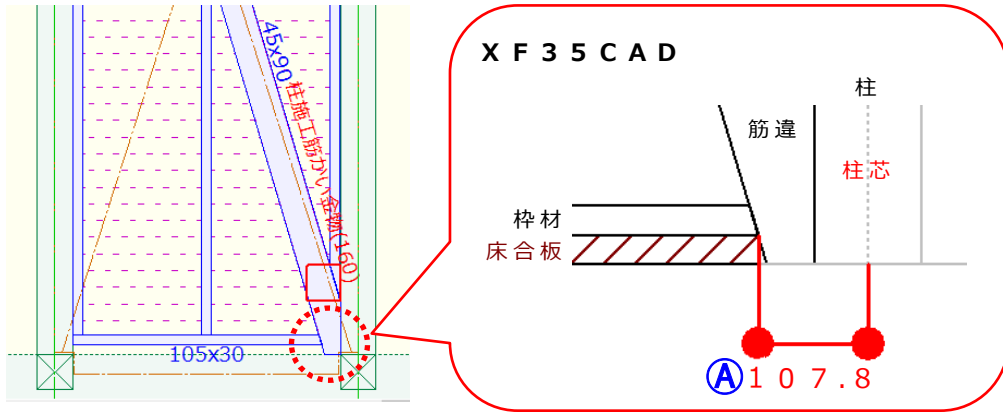
② 57.5 mm = 間柱材巾 / 2 (52.5 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

※ 当り欠きクリアランスを加味して床合板に欠き加工が生成されます。

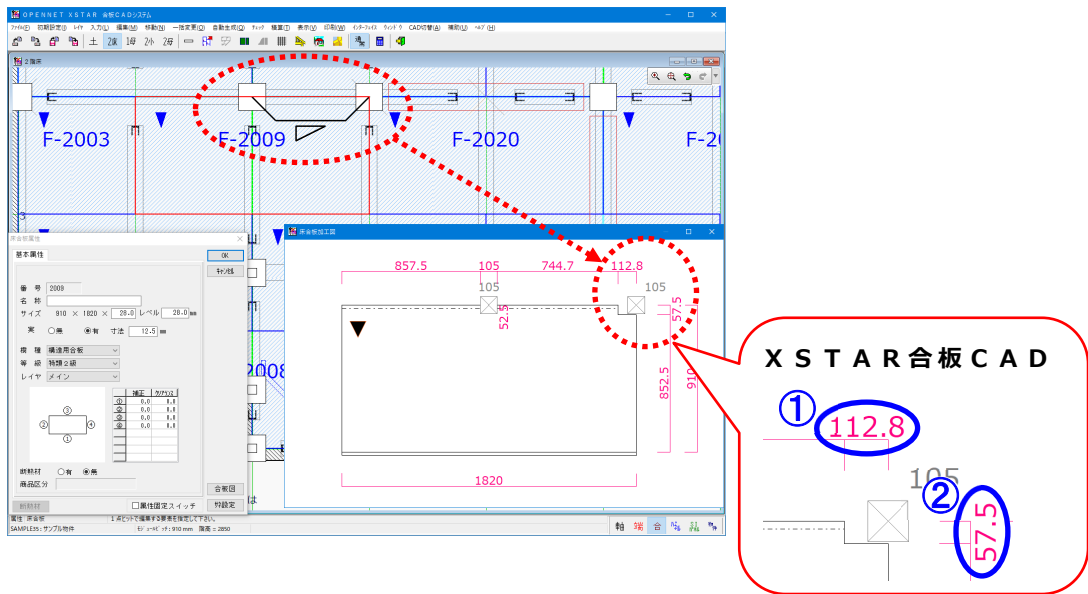
初期仕様—入力設定—加工生成 2

＜床合板の筋違当り欠き（筋違端部に筋違金物が配置されていない場合）＞

例）床合板当り欠きクリアランス 対筋違：5 mm



加工生成 ⇒ 合板 CAD ⇒ 加工生成



① 112.8 mm = 柱芯～筋違 (107.8 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

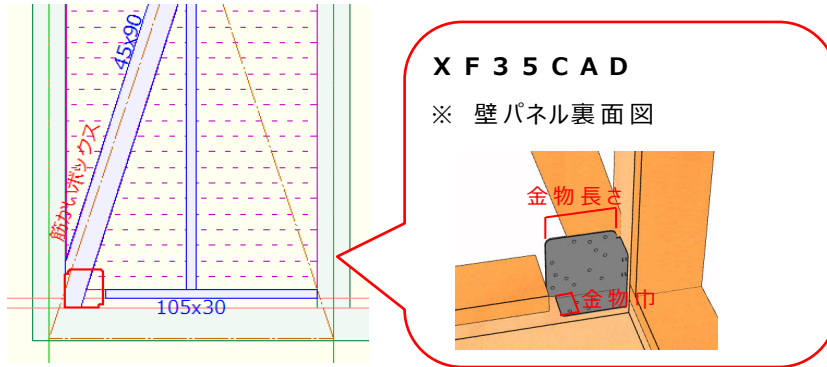
② 57.5 mm = 柱芯～筋違 (52.5 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

※ 当り欠きクリアランスを加味して床合板に欠き加工が生成されます。

初期仕様—入力設定—加工生成 2

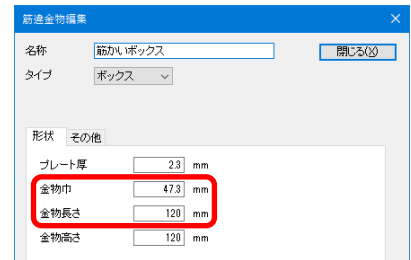
＜床合板の筋違当り欠き（筋違端部に筋違金物が配置されている場合）＞

例）床合板当り欠きクリアランス 対筋違：5 mm

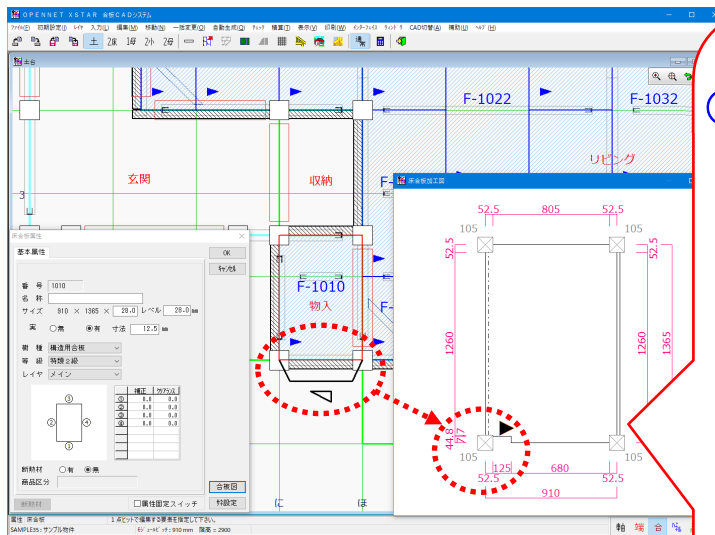


・金物マスター

〔補助－マスター編集〕の「金物マスター－筋違」で設定した金物巾、金物長さが床合板当り欠き加工に反映されます。



加工生成 ⇒ 合板CAD ⇒ 加工生成



① 44.8 mm = 柱芯～金物巾 (A 39.8 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

② 125 mm = 金物長さ (120 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

※ 金物サイズ + 当り欠きクリアランスを加味して床合板に欠き加工が生成されます。